

木村ひでこの生活相談



生活
相談

介護福祉士、ケアマネ、
福祉用具専門相談員の経験いかし
これからも、心から聴くことを大切にしたい

私が生活相談で心掛けていることは、ことわらないで、相手の立場に立って話を聴くことです。相談者が何に困っているのか、本当は何を希望しているのかなど、その人の立場に立って心から聴くことです。

ある中学生から「修学旅行も中止になり思い出をつくれなくてさびしい」と手紙をもらいました。子育て中のお母さんからは、「子どもがいじめられているのではないかと相談されました。お子さんが50代で障害があり、80代のご両親から、親なき後が心配だと訴えられました。他党派の区議さんからも、「この場合はどうしたらいいの」と相談されたりもします。

これからもどんな相談にも耳を傾け解決めざして頑張ります。



相手を思いやり、寄り添う 木村ひでこのルーツ、原点は

4歳で母を亡くし、祖母に育てられる

4人姉妹の3女で、4歳の時に母が亡くなり、父は東京に出稼ぎなどで、祖母が私たちを育ててくれました。狭い市営住宅で小さい時から毎日家事を手伝っていました。

シングルで子育てを

シングルマザーで一人娘を育てました。貧乏だった私は、娘には同じ思いをさせたくないという気持ちが強かったです。しかし、子育ては親も子どもと一緒に成長するんですね。子どもに助けられたことが多いです。何よりも、私たち姉妹4人を育てた祖母の苦労と偉大さを、自分が親になって改めて感じました。

「困っている人を支えたい」が私の原点です。



木村ひでこプロフィール

- 1965年、山形県南陽市生まれ
- 地元の商業高校を卒業後上京してアルバイトをしながら短期の専門学校に通う
- 2007年、社会福祉法人すこやか福祉会入職。高齢者住宅、ファミリーケアすこやか、ファミリーケア水元公園、ファミリーケアあおと、デイサービスセンターかなまち、みさと建和病院地域包括ケア病棟に勤務。2017年区議会議員、現在1期目
- 介護福祉士、介護支援専門員(ケアマネ)、福祉用具専門相談員、住環境コーディネーター3級
- 趣味特技は料理、映画鑑賞、中型バイク、2級船舶など

日本共産党に入党して...

介護現場で働いていた時に、命がけで戦争に反対し、国民のために献身的に頑張る日本共産党に入りました。共産党員になったことが生活相談の原動力だと思います。

11・7
区議選

日本共産党

困っている人をほっとけない
介護福祉士の経験いかし
毎日が生活相談

2期目に挑戦

日本共産党区議会議員

木村ひでこ

葛飾民報 2021年9・10月号外 葛飾民報社 / 葛飾区南水元2-24-12 / ☎3697-2101
日本共産党葛飾地区委員会の見解と活動を紹介します。



コロナ・子育て・介護など
お困りごとはなんでもご相談ください ☎090-8640-5378

日本共産党

木村ひでこの2期目への思い

コロナ

命を守りたい、必要な支援が届かない
支援がいていない現実を変えたい

入院できず救える命が助からない現実には放置できません。①一刻も早く政府の責任で臨時の医療施設を大規模につくる②感染拡大の連鎖を断つために、事業所、学校・保育園などでの大規模検査を行うべきです。一人親、非正規雇用、学生など、しわ寄せが集中している方への給付金なども急ぎます。



区政

庁舎の建替えより
コロナ対策に全力を

現区長と自民・公明などは、まだ十分使える区役所を立石駅の再開発ビルに移転・建替えを行い、660億円もの税金を使おうとしています。区民合意もなく、税金の使い方も間違っています。いつでも、誰でも、無料で受けられるPCR検査や保健所の拡充などコロナ対策を優先させます。



2期目のお約束

- 18歳までの医療費無料化
- 学校給食費の無償化
- 国保料の子ども均等割廃止
- 特養ホームの増設
- ジェンダー平等社会へ
- 交通不便地域のバス路線拡充
- 選択的夫婦別姓制度やパートナーシップ制度の実現

生活相談での声、実態を訴え区政動かした4年間

議会では、保健福祉委員会で4年間頑張りました。



1 紙オムツ支給対象の拡大

木村さんは、本来なら紙オムツ支給の対象になるべき40歳から64歳の特定疾患のある方が対象外であることを議会で繰り返しとりあげ、区にも認めさせました。要介護2以上で所得制限がありますので、さらに改善します。



2 就学援助金の入学前支給と拡充

生活困難な家庭の教育費を支援する就学援助制度。木村さんもシングルでの子育ての時に受けていました。それまでは小学校入学後に支給されていた入学準備金を入学前に改善させ、40,600円を63,100円に増額させました。



3 高齢者見守り事業 乳酸菌飲料1本の値上げストップ

区議になって最初の質問で、在宅の一人暮らし高齢者の安否確認のために1本10円で配布していた乳酸菌飲料の値上げ計画をやめるよう求めました。



乳酸菌飲料の袋

4 区の障害者雇用の改善

区の障害者の法定雇用が守られていない問題を議会で取りあげた木村さん。区も直ちに改善しました。



現場の声を聞き、すぐ行動する 木村ひでこ

金町 横断歩道信号の青時間が11秒伸びて安全に



金町2丁目高架下の水戸街道の横断歩道の青信号。短くて渡りきれない問題を警察と交渉。11秒延び「ゆとり信号」に。

細田 議会での再質問が力に。循環バス運行開始



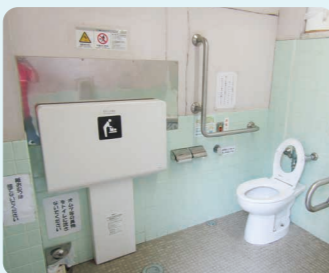
議会で繰り返し求めてきた細田循環バスの運行が実現。

青戸 青砥橋のエレベーター設置へ大きく前進



住民と取り組んだ請願署名が都政を動かし、区議会でも「青砥橋にエレベーター設置」を求める意見書が全会一致で採択され、実現へと歩です。

新宿 交通公園のトイレなどが改善



区議になる前から取り上げていたトイレの子ども用便座とオムツ替え台が設置されました。

白鳥 危険道路に路面表示が実現



住民から白鳥4丁目3番と6番の間の道路が危険なので改善要求があり、区と交渉し、道路表示で注意喚起することに。

駅前団地 JR金町駅ホームドア設置に全力



「ホームドアを実現する会」のみなさんと一緒にとりくみ改札口の改善とホームドアの早期実現をJRや東京都に求めました。

私たちは、木村ひでこさんに助けられました



主人が亡くなり、生活全般お世話になりました。今は、新たに第二の人生を送っています。御恩は決して忘れません。



元・新宿在住
小池 栄子

身体的にも精神的にも衰えを実感していたある時、意識喪失してしまい、一昼夜、玄関で倒れてしまいました。連絡すると、すぐ駆けつけてくださり、行政や医療につなげてくださいました。今では温かく見守り支えてくださっています。



新宿在住
岩村 功

息子のことで、すぐに駆けつけ相談に乗ってくれました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で経営の方も危機的な状況でしたが、使える制度を的確に教えてくださり、今は、何とかコロナ危機を乗り越えて頑張っています。



白鳥在住
勝部 義治

木村ひでこ区議は、暮らしの守り手であり、区民の命綱です。

何としても、2期目区政に押しあげてください。

日本共産党 都議会議員
和泉なおみ



アパートを出なくてはならなくなりました。住み慣れた葛飾からは離れたくありませんでした。その時に、木村さんは、私の気持ちに最後まで寄り添ってくださり、今は、区内で介護サービスを受けながら生活をしています。



元・金町在住
武田 礼子

新型コロナに関する補助金や助成金、融資などの支援制度について説明していただき、一緒に動いていただきました。本当に助かりました。



青戸
八百久商店

コロナ感染拡大のさなか、主人の体調が悪化し亡くなってしまいました。木村さんが高齢者総合相談センターなど関連する機関に連絡し、すぐに生活を支えてくださいました。



青戸在住
小佐野 節子

弟が亡くなり、行政書類の手続きや遺品整理、介護保険の手続きを手伝っていただきました。困っているとすぐに飛んできてくださり、最近では、聴覚障害手帳の手続きの協力をしてくださいました。



金町在住
青木 スミ子

困っているときや将来のことで不安になっているときに、親身になって話を聞いてくださいました。今では、息子も木村さんを信頼し私達の話聞いて一緒に考えてくださいます。



白鳥在住
奈良橋 つる江

木村ひでこの活動地域 青戸、白鳥2丁目～4丁目、新宿1丁目～5丁目、金町、細田1丁目、3丁目～5丁目、奥戸9丁目、金町駅前団地

総選挙

日本共産党 市民と野党の共同で政権交代を実現し、国民のための新しい政治を

比例代表



笠井 亮



宮本 徹



池内 さおり



坂井 和歌子



谷川 智行



細野 真理



新井 杉生

小選挙区東京17区

制度解説 衆議院選挙は2回投票します

1回目 小選挙区

「候補者名」で投票

2回目 比例代表

「政党名」で投票

ポイント 比例代表は「日本共産党」の投票数が多いほど、共産党国会議員の当選者数が増えます。候補者名で書くと、【無効】になります